



害虫駆除用炭酸ガス製剤

スプレードライ

スプレードライSP／スプレードライFT

スプレードライは安全性の高い「プロフルトリン」を主成分とする
イカリ消毒オリジナルの炭酸ガス製剤です。



低い残留リスク

ステンレスなどの金属面に
付着した有効成分は、
通常は1日～2日程度で速やかに
蒸散するため、薬剤残留期間の
非常に短い殺虫処理が可能です。

残留
リスク

高い安全性

「プロフルトリン」は哺乳動物に
対する毒性が極めて低い、
ピレスロイド系殺虫剤です。

高い
安全性

優れた拡散性

有効成分のみが超微粒子と
なって浮遊するため、
拡散性に優れています。

優れた
拡散性

必要箇所への重点処理が可能

ホーンノズルS (FT用) を使用する
ことで、対象害虫や発生源に
十分な薬剤を噴霧できると共に、
周囲への拡散を極力おさえる
ことができます。

重点
処理

IKARI

CH₂

スプレードライSP

- タイプ：7kg
- プロフルトリン0.2% (w/w)

主に飛翔性昆虫を対象とした炭酸ガス製剤です。従来の炭酸ガス製剤に比べ、低濃度で効果を発揮するため、空間への薬剤の噴霧量を抑えることができ、さらに有効成分は常温で蒸散するため、薬剤の残留を極力抑えることができます。

スプレードライFT

- タイプ：2.4kg・7kg
- プロフルトリン0.6% (w/w)

食品工場で発生する害虫(貯穀害虫)やチャタテムシなどの不快害虫を対象とした炭酸ガス製剤です。専用のホーンノズルSの使用で対象害虫、発生源に十分な薬剤を噴霧できるとともに周囲への拡散を極力抑え、混入リスクや人身事故リスクを低減することができます。

スプレードライの処理方法

① 空間噴霧処理

空間噴霧ノズルを使用し、空間全体を処理する方法です。

② 局所処理(ホーン工法)

専用のホーンノズルSを使用し、局所処理をする方法です。周囲への拡散を極力抑え、薬剤汚染の危険性が低減します。

③ 注入処理

針ノズルを使用し壁内などへ薬剤を注入する施工方法です。

■スプレードライの噴霧方法と使用ノズル

噴霧方法	使用ノズル	スプレードライ	
		FT	SP
局所処理	ホーンノズルS	○	×
空間噴霧	空間噴霧ノズル	○	○
壁内処理	針ノズル	○	○



ホーンノズルS



空間噴霧ノズル



針ノズル

対象害虫と空間噴霧の密閉時間

スプレードライ	密閉時間	対象害虫
FT	4時間	貯穀害虫など
SP	30分	飛翔性昆虫
	2時間	ノシメダラメイガ
	2時間	タバコシバンムシ
	2時間	チャタテムシ

※粉の中に潜んでいる個体には効果がありません。

従来の製剤との残留性比較(ステンレス板に噴霧)

薬剤	残存率(%)					
	2時間	4時間	8時間	1日	2日	5日
プロフルトリン	37	18	5	ND	ND	ND
シフェノトリン	93	85	74	52	33	ND

※ND:検出限界以下
※スプレードライFT

対象害虫



チョウバエ
SP FT



ショウジョウバエ
SP FT



ノミバエ
SP FT



チャタテムシ
SP FT



ノシメダラメイガ
FT



タバコシバンムシ
FT



コクヌストモドキ
FT



ノコギリヒラタムシ
FT

使用上の注意

●薬剤を取り扱う際には、事前に弊社で実施する研修の受講が必要です。●製品安全データシート(MSDS)や技術資料を十分ご理解の上使用して下さい。●煙感知器が作動する場合があるので事前に管理責任者に相談し、煙感知器の解除、復帰を責任者に依頼して下さい。●外部への漏れ防止が必要な場合は、目張りなどを行って下さい。●作業中及び作業場所に入る者は必ず保護具を着用し直接薬剤を吸入したり浴びたりしないようにして下さい。●養生は必要に応じて行って下さい。養生に使用するPEシートは厚み0.15mm以上のものを使用して下さい。●施工中は、関係者以外への入室を避けて下さい。●施工後は十分に換気してから入室して下さい。●食品、飼料などに直接かからないようにして下さい。●魚毒性があるため水槽のある場所では使用しないで下さい。●ペットや観葉植物は予め移動して下さい。

環境エンジニアリング 全国100事業所

IKARI **イカリ消毒株式会社**

本社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-11 Tel.03-3356-6191 Fax.03-3350-1405

大阪オフィス 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波5-1-60 Tel.06-6636-2741 Fax.06-6636-2720

https://www.ikari.co.jp/

お問い合わせ